



## 物価高騰に対する支援を行います

町では、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、物価高騰に対するさまざまな支援を実施します。令和8年度当初より、順次実施します(一部事業は令和7年度末より実施)。

### ○多古町食費応援特別給付金 **申請受付中**

2月1日現在、多古町に住所のある方に1人当たり1万円を給付します。詳しくは、3月に世帯主宛にお送りした通知と申請書をご覧ください。

**※申請期限は5月29日(金)までです(郵送申請の場合は消印有効)**

お問合せ●企画政策課企画政策係 ☎ 76-5417

### ○プレミアム商品券のプレミアム率上乘せ(令和8年度予算)

多古町商工会が発行するプレミアム商品券のプレミアム率を上乘せします。

お問合せ●産業経済課経済振興係 ☎ 76-5404

### ○農業生産資材高騰対策支援給付金(令和8年度予算)

農業生産資材の価格高騰による負担軽減を図るため、農業(農作物の生産)を主たる事業とする方に給付金を支給します。

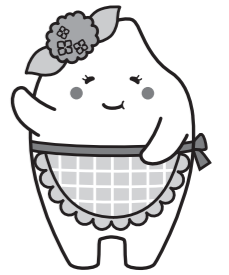
お問合せ●産業経済課農業振興係 ☎ 76-5404

### ○水道料金の減免(令和8年度予算)

県の実施事業に上乘せし、1期分(2カ月分)の水道料金の減免を行います(官公署除く)。

お問合せ●生活環境課水道管理係 ☎ 76-5406

### ○その他 国保多古中央病院(病床のある町内医療機関)への電気代補助を行います。



## 令和8年経済センサス 活動調査を実施します

経済センサス 活動調査は、全産業分野の事業所・企業の経済活動を全国及び地域別に明らかにする調査です。

**【調査の期日】** 6月1日現在 **【調査の対象】** 全国全ての事業所及び企業

**【調査の方法】**

①**調査員調査** 対象：支所等を有さない比較的小規模な事業所、個人経営の事業所など

インターネット未回答の事業所や新たに把握した事業所には、調査員が紙の調査票を配布しますので、郵送でご提出ください。調査票は5月末日までに配布します。6月8日(月)までに回答をお願いします。

5月20日(水)以降、「調査員証」を携帯した調査員が対象事業所や企業を訪問しますので、ご協力をお願いします。調査を装って金銭や個人情報を要求する「かたり調査」にご注意ください。

②**直轄調査** 対象：支所等を有する企業の本社▶国から書類が郵送されます。インターネットで回答してください。

**【調査結果の利用】**

調査の結果は、国の行政施策をはじめ、産業振興や商店街の活性化などの地域行政のための基礎資料として利用されます。回答内容は統計作成の目的以外には使用しません。

お問合せ●企画政策課企画政策係 ☎ 76-5417



## 「あじさい 通りの館」



久賀地区には、三兄弟みだいな小学校がありました。十余三小から見ても、久賀小がしつかり者の長兄とすれば、興新小は名前も校舎(二階建て)もハイカラで、個性的な次兄といったところでしょう。

今も旧興新小は往年の面影を残し、映画やCMのロケ地として人気があります。立地する高津原の里山と併せ、日本の原風景ですね。

高津原は町内でも古い村の一つに数えられます。次浦と交互に役場が置かれるなど、久賀村の中心的な存在でもありました。その高津原の一部が、旧十余三小学区にあるのをご存じでしょうか? 松木や出沼と共に学区内では希少な水田を持つ、大穴地区です。つまり高津原と十余三は地続きだと近年になって知り、幼い頃の記憶を蘇らせています。

当時、赤池十字路から十余三小へ向かう通りにあじさいが並び、洋館風の邸宅が建っていました(地名の由来はその裏

の池です)。大人たちが必ず敬称付きで呼ぶ「菅澤先生」の別荘だと噂され、ミステリードラマの舞台になりそうな佇まいでした。

実は、高津原の代議士(後に実業家・村長)が興した『菅澤農園』の元事務所です。学校も私の生家も遊び廻った林も、昔は農園区画の一部だったと聞きます。明治期の開墾事業が頓挫した際に引き継ぎ助けてくれたと、開拓民とその子孫は感謝の念を持ち続けたわけですね。

入植者それぞれの本家とは別に、もし集落赤池の本家があるなら高津原じやないだろうか、と、私個人は考えていました。多古町の花があじさいに決まった時、なんとなく納得できたのは、一度も入れなかつた不思議な空間や、前の通りに咲く花を思い出したせいかもしれません。現在の景観は少々寂しく、せめて高津原の里山風景は変わらずにいてほしい、そう願うばかりです。

## 病院コラム

### 「認知症が気になる方へ」

文/国保多古中央病院 病院長 片倉 達

職員からこんなことを言われました。「親が認知症でないかと心配なのですが、病院に行きたがらなくて」。そう感じていらつしやる方はたくさんいるのだと思いました。80歳代の親を持つ私も、そう思う一人でした。

認知症の有病率は65歳以上で12%、80歳代後半で男性35%、女性は44%と高率です。認知症は進行すると、社会での生活が難しくなり介護が必要となります。最後は寝たきり、嚥下障害をきたし、生命維持が困難となります。体が元気でなければいけないことと同じように、頭も元気でなければいけません。

こんな症状が気になったら、国保多古中央病院にお越しください。物忘れが激しい! やる気が出ない! 怒りっぽくなった! ないものが見える! テレビや新聞を見なくなつた! 不安に感じる!

**【3階での診療の流れ】**  
初回受診は月曜日、午後の私の外来を受診してください。  
受付は午後2時から4時30分です。

看護師から問診を受け、その後採血を行います。

→ 頭部MRIを撮ります。(当日撮影できないときは、後日撮影となります。また、閉所恐怖症、心臓ペースメーカー、金属が体内にある方は撮影できません。)

→ MRIを撮影し、2~3週間後に内科受診を行い、結果を説明し、内容に応じて対応させていただきます。  
※お薬手帳は必ず持参してください。  
※高齢の方は、ご家族と一緒に受診をお勧めします。ご家族も診察室に同行してください。

※MRIを初回受診時に撮影できなかった場合は、3回の受診となります。  
※外来が混雑し、待ち時間が長くなることも予想されますが、ご理解いただきたく存じます。

お問合せ●国保多古中央病院 ☎ 76-22211